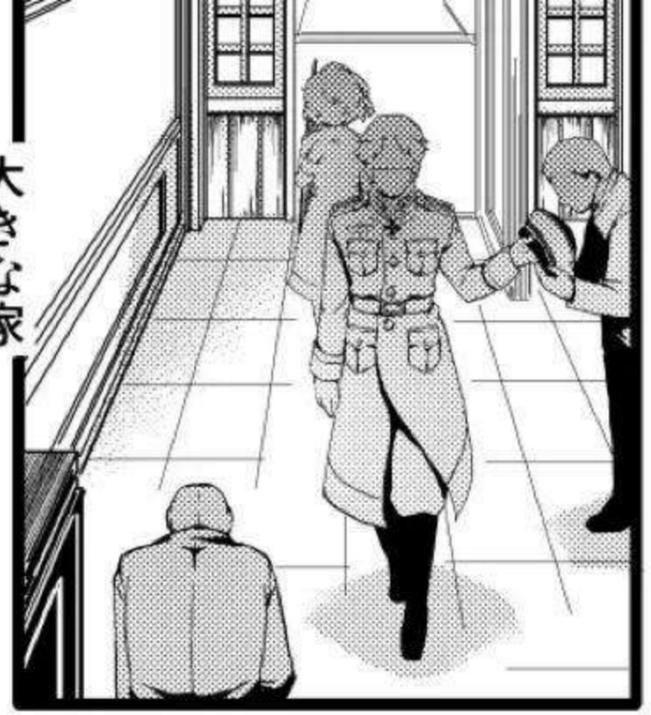




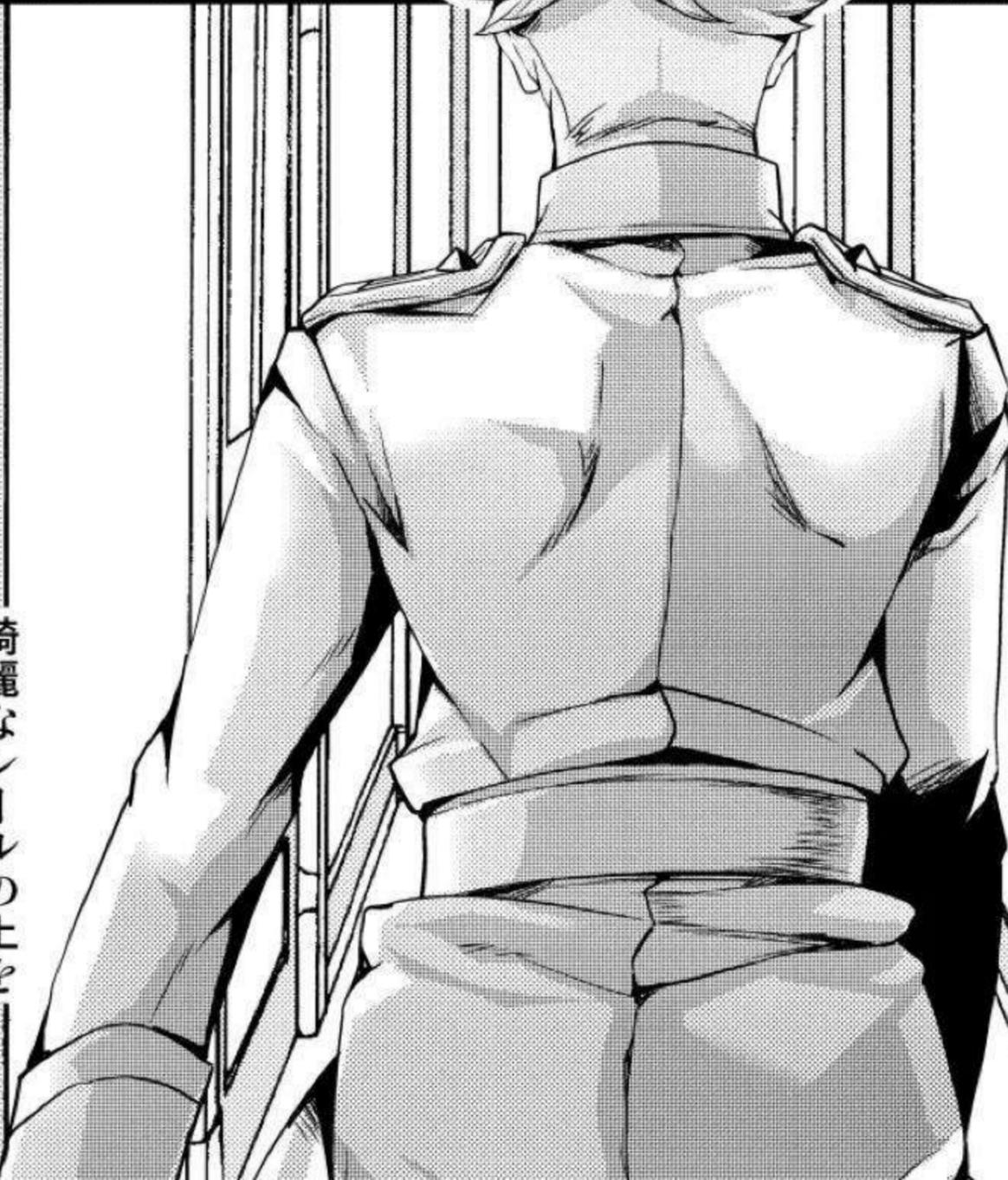
出迎える執事

大きな家



順当にエリートコースを
歩んできた上官

綺麗なレールの上を
走っていらつしやる



親に捨てられ
孤児院で育ち

魔導適性があり
いずれの徴兵は
确实

なんとかここまで
這いあがってきた

.....
ああ

存在Xはこれを私に
見せたかったのか





せっかく上司の家に
お呼ばれしたというのに

……何故だろう……

とても

とても苛立たしい



羨ましい？

ええ、とても

大きな家を持ち
執事もおり
将来有望な参謀将校

羨望の的
でしょう



……少佐？
どうした？

……いえ

レルゲン中佐殿が
羨ましいと思ひまして



……あまり
褒められてる
ようには
聞こえないが……

それを言うなら
貴官だろう

数々の勝利を収め
軍人マルスに
愛されて……

お言葉ですが

神に愛されてるなど
一度も感じたことは
ありません

そのような
不確かなものに
私の人生が
左右されるなど
我慢なりません

少佐……？

神に愛されてる？

では何故私は
孤児なのですか？

何の後ろ盾もない！

軍内ではそれなりに
敬意を払う者も
いるでしょう！

ああ、私は何を
言ってるんだ

こんな事レルゲン中佐殿に
言っても何も変わらない所か
私の印象を下げ兼ねない……

しかし軍服を脱いで
しまえば何も無い！
ただの小娘です！

魔力が無ければ
男に力で勝てもしない！

でも止まらない

レルゲン中佐殿が
羨ましい……！！

これのどこが
神に愛されてると!?



中佐殿には解りませんでしよう!?

敷かれたレールを順調に進んでる中佐殿にはっ!

……少佐……



苛立たしい!



……っ
申し訳ありません



私で良ければ
いくらでも聞こう

色々辛い思いも
してきたんだろう

軍内での貴官しか
知らない私はその内を
考えたこともなかった……



……すまない



泣……え？

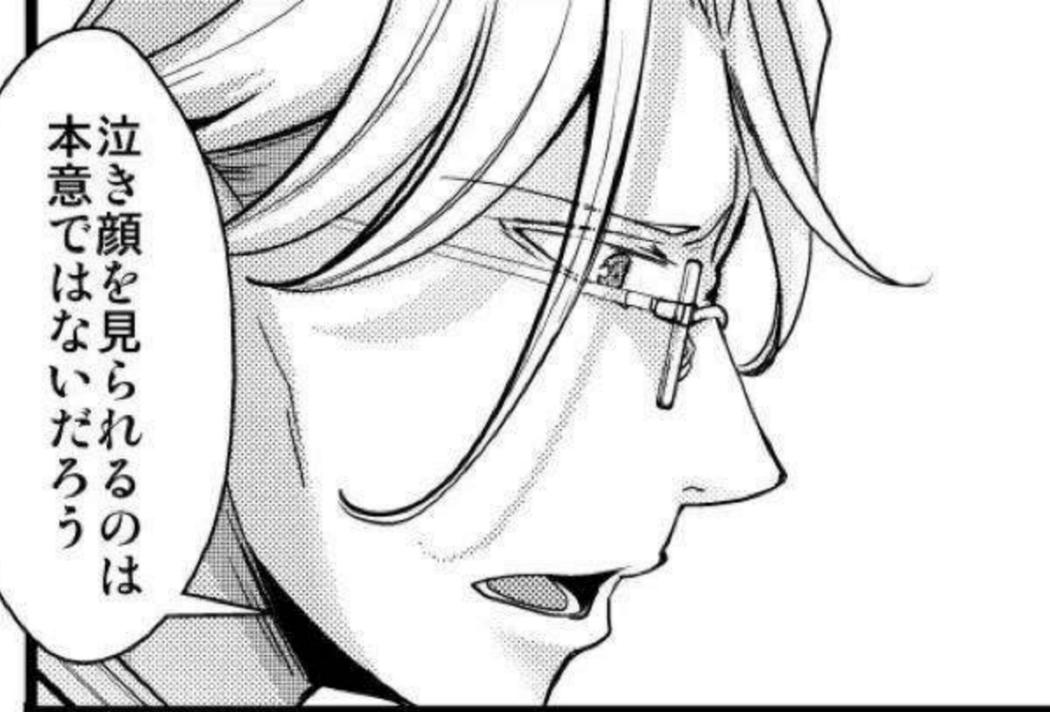
あれ……

レ……レルゲン中佐殿!?

だから泣くな



…中佐殿は
お優しいですね



泣き顔を見られるのは
本意ではないだろう



ああ、それで
孤児院にと
仰ってましたね



まあ聞け

酷いですね

それで、貴官が軍に
入る前の事が気になってな



…私は今まで
君を化け物だと
思ってた

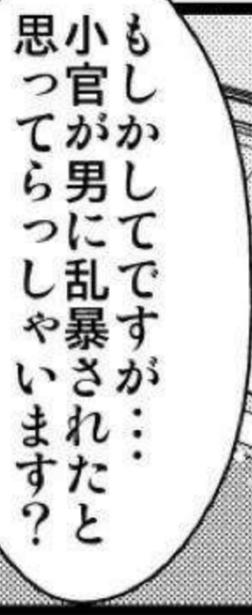
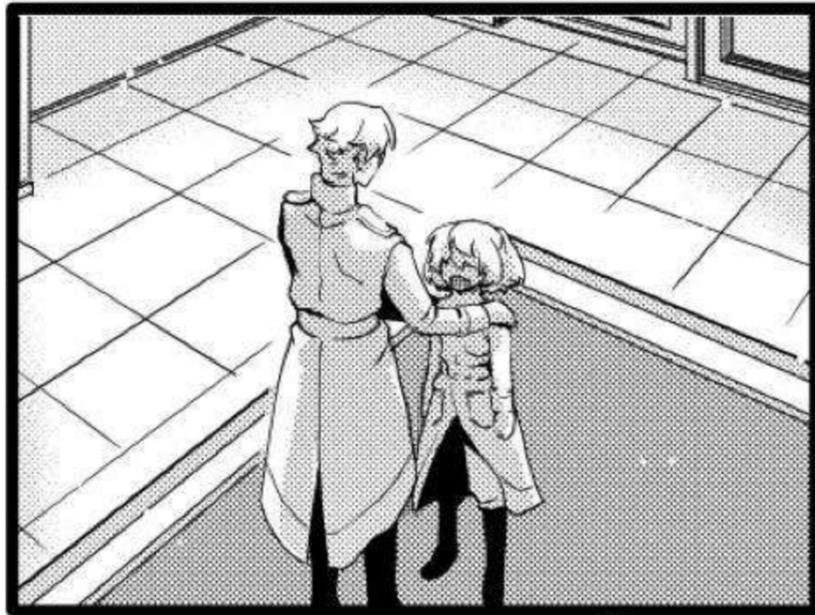


え？



先の言い分だと
男の私では解らない
苦労というか…

その…辛い事が
あったんだろう？





そうでないなら
良かった

…いや

あははははー



レルゲン中佐殿は
お優しいですね

からかうな



この身体は返り血に
塗れてはおりますが

紛れもない
処女です



レルゲン中佐殿が
確かめてみますか？



なんなら



そうではなく...

申し訳ございません
こんな凹凸もない
小娘ではお役には
立てますまい

...何を
言って...

お気を遣わず

レルゲン中佐殿でしたら
引く手数多でしょう

やはり中佐殿が
羨ましいです

私もせめて男であれば
こんな惨めな思いもせずに
済んだでしょうに

...中佐殿?



お気を遣わず

レルゲン中佐殿でしたら
引く手数多でしょう

やはり中佐殿が
羨ましいです

私もせめて男であれば
こんな惨めな思いもせずに
済んだでしょうに

...中佐殿?



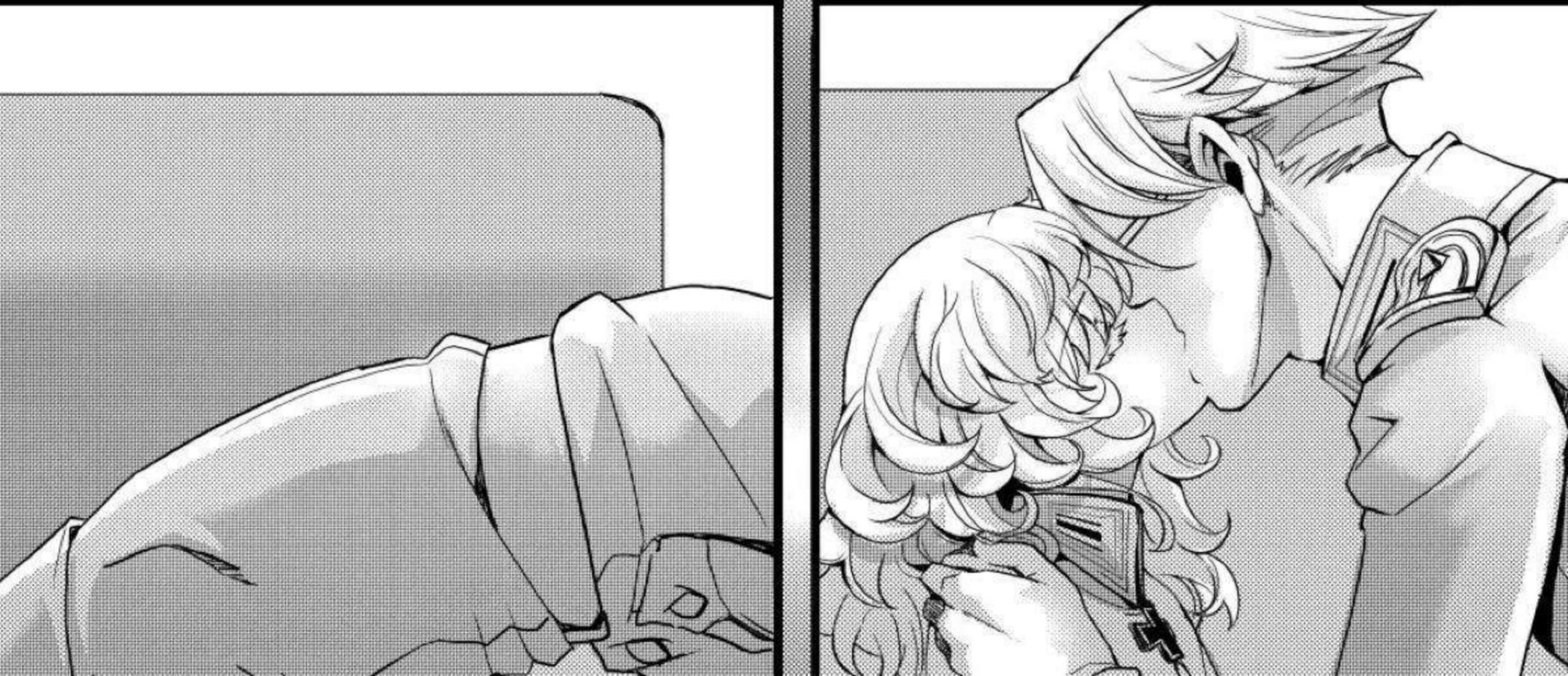
それで後悔
しないのかな？

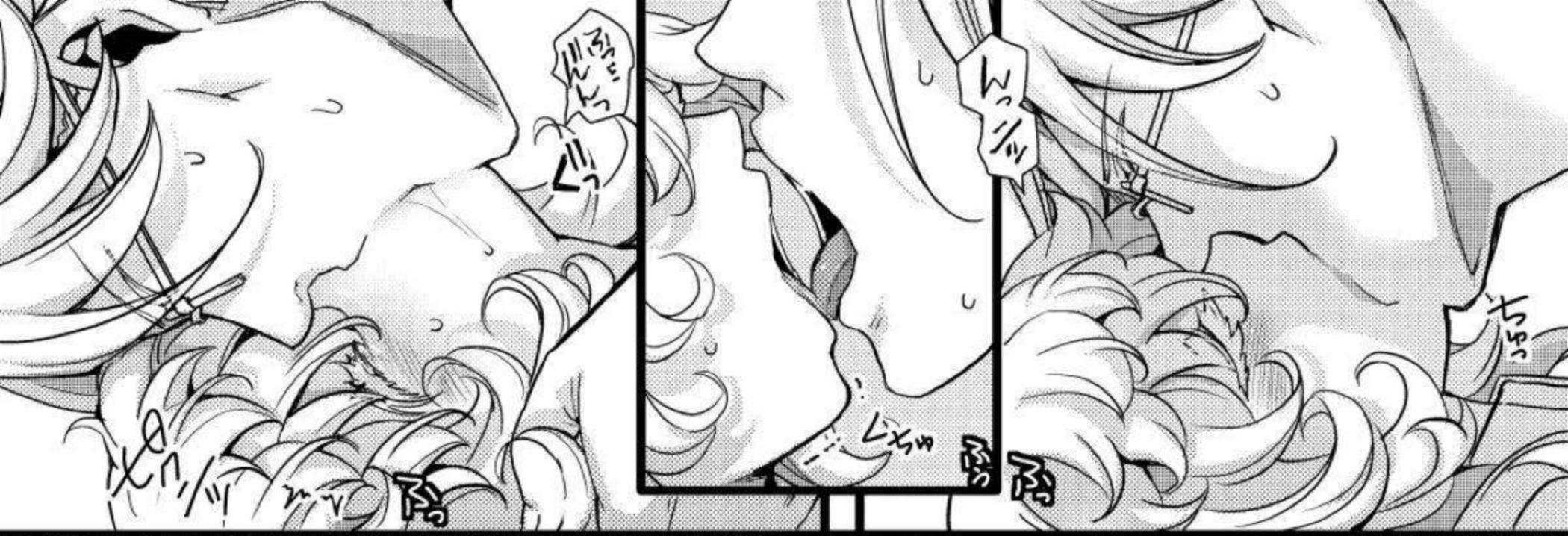
君は……

アッ……



ええ







なっ…!?







...っだからっ
処女だと言ったじゃないですか...っ

Topo

Topo

Zan

Zan

Shi

さあ？まだ
わからんな



ぐい

...だったらっ

ちゃんと確認
してください！



少佐...っ無理はするな...

っ...これくらいっなんてこと...ありませんっ!

えっ? あっ...なに...?

ここか



おっ...

ヒッ





おや、小官は
上手ですか？
光栄です

……ツ……随分
扱いに慣れてる
ようだが？



我慢されずとも
出してくださいさって
構いませんよ

口で受け止めた方が
よろしいですか？

それとも







はっ!?何言ってるんですかっ!

貴官の痛みに
比べれば
大したことない

あつ...も...申し訳
ありませんっ!
中佐殿にお怪我を...



処女だというのは
証明されたな
デグレチャフ少佐?

おろろ...

AI

グッ

グッ

グッ



…あの…
動かないのですか？





言うじゃないか

わかった



では好きに
させてもらう



あーっ!!



ここか

まっ…て
くださっ…

あぁ

んあ

セセ

セ

セ

クッ

クッ

セ

クッ

気遣わなくていいと
言ったのは君だろう

セ

ふあ、女あぁ
あぁあぁ

そ…ですけど
…違…てっ

んあ

!?

セ

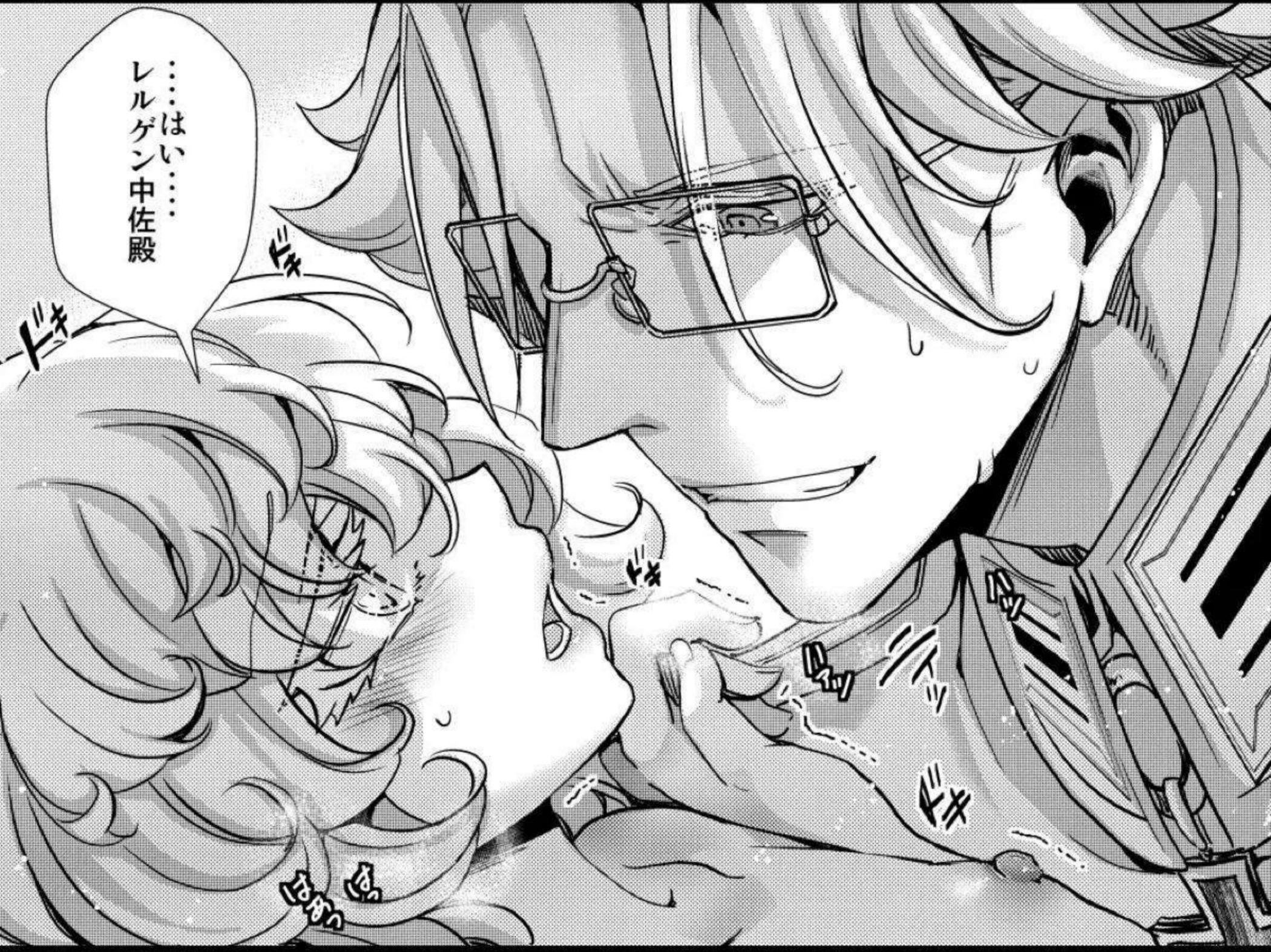
セ

おほ

セ

クッ







良い声で啼くじや
ないか、少佐

あつあつ
あつあつ
あつあつ

んあつ!
あつあつあつ



あつあつ
ちゆ…佐…どのつ

あ…ふあ
ん…ん…

果…
あつあつ
あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ



あ...あ...あ...
あ...あ...あ...

あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...
あ...



少佐?

カッパッパッ!



カッパッ

あつ...だめっ...
ナカから...
...でちや...っ



カッパッ

カッパッ

カッパッ



中佐……ど

名前で

名前で呼んで
くれないか？

……っ……は

エーリツヒ……

……っ……は
エーリツヒ……

はぁ
はぁ
ニキ
ニキ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ



ターニヤツ!

あーっ、あーっ、あーっ

あーっ、あーっ、あーっ
あーっ、あーっ、あーっ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

ターニヤツ

あーっ

あーっ

あーっ...



私で良かったのか？

は？

焚きつけたら
気付かれないと
思ったか？

はい、いいえ
中佐殿

小官のワガママに
お付き合ひ下さり
ありがとうございました

あとあと文句は
受け付けんぞ



帝国軍人に二言は
ありませんとも

エーリツヒ



END